

「商標のサバイバル改訂版」が
20名様に当たる
ぬりえコンテスト
同時開催中

おすすめの
15冊

合計2025名様にプレゼント!

下から1冊
選んでね

第9弾
子ども読書
応援キャンペーン



<p>01 月のサバイバル 朝日新聞出版 洪在俊/原案 古田健二/絵 渡部昇一/監修</p>  <p>月を目指して宇宙船に乗り込んだダイヤたち。しかし彗星のダストが宇宙船に接近して緊急事態発生! 果てしない宇宙でのサバイバルが始まる。</p>	<p>02 大ピンチずかん2 小学館 鈴木のりたけ/作</p>  <p>こどもが出あう世の中のさまざまな大ピンチを、「大ピンチレベル」の大きさと、新採用の「大ピンチグラフ」で分析、紹介します。</p>	<p>03 メメンとモリ KADOKAWA ヨシタケシンスケ/著</p>  <p>「生きる目的」って必要ですか? どこかのさようだい、メメンとモリがおくる「人はどうやって生きていけばいいの?」の3つのおはなし。</p>	<p>04 りんごかもしれない プロレス新社 ヨシタケシンスケ/著</p>  <p>テーブルの上にりんごがおいてあった。でも、もしかしらたら、これはりんごじゃないかもしれない。「かんがえる」ことを果てしなく楽しめる、発想絵本。</p>	<p>05 学校では教えてくれないヤバい科学図鑑 SBクリエイティブ るーい/著 左慈健男/監修</p>  <p>宇宙、生物、物質や現象、世界の不思議な場所……。世の中にあふれる「ちょっとコワくて不思議な話」を科学的に解説!</p>
<p>06 グレックのダメ日記 ポプラ社 ジェフ・キニー/作 中井はるの/訳</p>  <p>世界的なベストセラーシリーズの第1巻。これはすごくダメな少年の日記です。この日記を読めば、みんなも元気になると思うよ。</p>	<p>07 莉緒と古い鏡の魔法 朝日学生新聞社 香坂理/作</p>  <p>人を惑わす妖しいチャームから、莉緒は大切な友だちを守るのか……。大嫌いな自分を好きになる、魔法の1カ月がはじまる!</p>	<p>08 赤毛のアン (新装版) 講談社青い鳥文庫 L・M・モンゴメリ/作 村岡花子/訳 HACCAN/絵</p>  <p>孤児院から手遣いでやってきた、おしゃべりな赤毛の女の子・アン。美しい自然とともに、アンの成長と周囲の人々との関係が描かれます。</p>	<p>09 走れメロス 講談社青い鳥文庫 太宰治/作 西加奈子/編 浅見よう/絵</p>  <p>身代わりとなってくれた親友を救うために、メロスが迷い、苦しみながらも走り続ける表題作ほか、太宰の名作7編を収録。</p>	<p>10 謎解きはディナーのあとで 小学館ジュニア文庫 東川篤哉/著</p>  <p>本屋大賞第1位&シリーズ累計444万部突破! 執事探偵&令嬢刑事コンビが活躍する国民的ミステリ。影山、麗子と一緒に謎に挑もう!</p>
<p>11 5分後に意外な結末 ベスト・セレクション 心弾ける巻の巻 講談社文庫 橋本ハル/著</p>  <p>シリーズ累計500万部突破の超人気シリーズ。家族みんなで楽しめる、日常をリフレッシュさせる選りすぐりの50編。全編どんでん返し!</p>	<p>12 星のカービィ メタナイトと魔王の怪物 角川つばさ文庫 高瀬美恵/作 菊野たか/絵 ぼと/監</p>  <p>メタナイトが主人公になって、大海原の冒険にいく! 深海にひそむ怪物を先に倒すのは、メタナイト? それともカービィ?!</p>	<p>13 おもしろい! 進化のふしぎ まだまだざんねんないきもの事典 角川つばさ文庫 高橋直樹 今泉忠明/監修 下間文恵ほか/イラスト</p>  <p>「どうしてそうなった!？」と思わずっこみたくなる生き物たちの意外な事実を紹介。恐竜などの古生物やめずらしい生態の「ざんねん」な一面も……!</p>	<p>14 ドラえもん科学ワールドspecial みんなのためのおもしろ工学入門 小学館 藤子・F・不二雄/まんが 小宮一仁/監修</p>  <p>ものづくりの技術、工学の面白さを学問別に紹介。小学生向けの工学入門の決定版です。</p>	<p>15 12歳までに知っておきたい語彙力図鑑 日本総評協会マネジメントセンター 齋藤孝/著</p>  <p>語彙力こそが教養! 齋藤先生のわかりやすい解説とイラストで、楽しみながら語彙を学ぶことができ、子どもの表現力が伸びる一冊。</p>



キャンペーンサイト <http://t.asahi.com/dokusho01/> 朝日新聞 子ども読書応援 検索

キャンペーンサイトから必ず保護者の方がお申し込みください。
●当選者の発表・賞品の発送をもって代えさせていただきます。 ●お問い合わせ:「子ども読書応援キャンペーン」事務局 marketing-pr@asahi.com
*ご応募には、朝日新聞社のサービスを利用にお使いいただける共通ID「朝日ID」の登録(無料)が必要です。*当選者への本のお届けは、2025年3月下旬を予定しております。
*朝日新聞社「子ども読書応援キャンペーン」事務局が選んだおすすめの本を掲載しています。学校の指定・推薦図書ではありません。*お申し込みいただいた方には、今後、本や教育に役立つ情報をお届けする場合がございます。*団体の一括ご応募には対応できません。ご了承ください。

締切日
2025
2/28

「南極のサバイバル改訂版」が
20名様に当たる
ぬりえコンテスト
同時開催中

おすすめの
15冊

合計2025名様に プレゼント!



ぬりえも
応募してね

小学生の頃の自分にすすめたい本

森絵都さんの「カラフル」です。僕は去年、この作品のミュージカルに出演させていただきました。原作もとてもすてきで。大人になれば受け流せることでも、子どもの時はモヤモヤしたりちょっと苦しかったりするものですよね。そういう時にいっしょに共感してくれる存在として、主人公が心の支えになることもあるんじゃないかな、と。あと、子どもの頃にしか感じられないものって絶対あると思うから。それは大人の僕が考えてもたどり着けない特別なもの。今読んで心に残るこの本を、そんな子ども時代の僕が読んだらどう感じるのか聞いてみたいです。



思い出に残っている本は?

志茂田景樹さんの「まんねんくじら」や「ぞうのこどもがみたゆめ」という本ですね。志茂田さんが開催していた読み聞かせの会に母が和楽器伴奏者として参加しており、そこで読んでもらった本です。子役をやってきたこともあると思いますが、お仕事で台本を読むと物語がずっと入ってくるのは読み聞かせをしてもらっていたからなのかなと思います。

本が苦手な人には...

まずは絵本でも何でも、自分が読めそうだなと思うものから読むといいんじゃないかな。でも、少しだけ苦しみながら読む機会もすごく大切。それは、難しいなと思って、がんばって読んでいくとわかってくることもあるし、「本を読む体力」がつくと思うから。僕も仕事で小さい頃から物語に触れていたからこそ「ストーリー」で本を読む力がきたえられたように思うんです。

本のどんなところが好きですか?

今はインターネットでどんなことも簡単に調べられるけど、なかなか深いところまではわからない。でも本なら、一つのテーマについて丁寧に詳しく書かれているから深く理解することができる。今は何でも短くまとめようとする時代だけど、そのために語られない部分が増えてしまった。本当はそこに大切なものがあるのに。本はそれをじっくり時間をかけて僕たちに与えてくれていると思うんです。

*全文はキャンペーンサイトでぜひ読み下さい



鈴木福さんの
思い出の本



「ふたはととだち」
文化出版局
アーノルド・ローベル/著
三木真/翻訳

「ミツケ!」
小学館
ジーン・マルソー/著
永井 重雄/翻訳

第9弾

本好き
になる

子ども読書 応援キャンペーン

世界が
広がる

★鈴木福さんプロフィール

すずき・ふく 2004年生まれ。幼少期から子役として活躍し、11年のドラマ「マルモの森」で主題歌の「マル・マル・モリ・モリ」が大ヒット。第53回日本レコード大賞特別賞を受賞、NHK紅白歌合戦に史上最年少で出場した。現在は大学に通いながら俳優・タレントとして多方面で活躍中。23年4月から情報番組「ZIP!」でパーソナリティーを務める。

裏面にはたくさんのお本があるよ!
好きな1冊を
選んで応募してね!



朝日新聞

本を読むことで、視野を広く持ち、豊かな時間を過ごしてほしいとの思いから、朝日新聞社は「子ども読書応援キャンペーン」を実施しています。ぜひお子様と一緒に、お気に入りの本を探してみてください。